

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473600946	事業の開始年月日	平成17年5月1日	
		指定年月日	平成23年5月1日	
法人名	株式会社アイシマ			
事業所名	グループホームあいあい			
所在地	(245-0016) 神奈川県横浜市泉区和泉町3200-1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護 レ 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年2月20日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473600946&SCD=320
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

安心して生活していただけるように、医療面での対応が充実しております。往診医（内科・精神科）、救急指定の協力病院、訪問看護ステーション、訪問歯科と幅広く連携し、状態に応じてスムーズに素早く対応できる体制が整っております。また四季の行事を大切にしており、季節を感じて楽しみのある生活を送っていただけるように努めております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年11月25日	評価機関 評価決定日	平成23年12月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは相鉄いずみ野線「ゆめが丘」駅から徒歩5分で幹線道路から徒歩1分程入った住宅地に建っています。近くには資材置場などもある立地ですが、近くの川縁には桜が咲く散歩道やドッグランもあります。運営法人は、グループホームを多数運営して、ノウハウを積み上げ、生活保護者の受け入れにも積極的に関わっています。法人で中華レストランを作り、入居者が気を遣わずに外食や、音楽療法を楽しめる場を提供しています。

<優れている点>
法人内の勉強会、事例発表会を行う他、認知症グループホーム全国大会にも出席し、認知症ケアについて学習しているグループホームです。職員は毎年希望者のみ海外旅行、一泊旅行などに行ける仕組みがあります。職員の定着率にもつながり、さらに地域の雇用にも役立つよう定年は75歳とし、介護職員の働きがい、入居者の笑顔に繋がっています。現場の意見は管理者、法人に伝えられるパイプの太さを感じます。

<工夫している点>
災害時には近隣の高齢者の拠り所となるよう、運営推進会議などで呼びかけたり、備蓄の用意もしています。地域の防災訓練にも積極的に参加して、賞を得るなど、「グループホームあいあい」ここにあり、を知ってもらおう努力を惜しみません。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームあいあい
ユニット名	たんざわ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職時のオリエンテーション時に理念を教え、事務所にも掲示しております。全体会議でも確認して、理念を共有しております。	理念は管理者と主任で作ったもので、地域密着の文言が記載されています。職員間には浸透していますが、入居者にわかりやすい内容、文言への変更も考えているところです。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中和泉町内会に加入し、催しに参加させていただき（祭りや地域の防災訓練等）交流を図っております。	町内会の盆踊り、防災訓練には参加しています。中学生の一日介護体験を受け入れています。地域の傾聴ボランティアの方も時折見えます。地域のふれあい祭りは、職員と入居者がジュース販売をしました。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方からの認知症やホームについての質問について説明を行っております。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で活動状況報告書を配り、ホームの状況を説明しております。会議での意見を取り入れてサービス向上を図っております（災害時の安全な避難について）	2ヶ月に1度行い、町内の役員、地域包括職員や役所の方に声かけをしています。行政関係者は、用事があると欠席しがちですが、職員、家族、町内会役員で行い、行事や事故について提案をもらったり、地域の情報提供を得る機会にしています。	以前は、近隣のグループホームと合同で行い、他のホームの情報を得て、有意義でした。単独でやる様に指導されてから、行政関係者の出席は間遠になっています。行政への出席要請も根気良く実施される事を期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護を受けておられる入居者様が多いので、生活保護担当ケースワーカーとは日頃から連絡を取り合っております。また、市・区主催の研修にも参加しております。	精神科の病院から区役所のケースワーカーを通して、入居する生活保護の入居者が多く、役所とは連絡が密にとれています。市、区主催の研修には参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修に参加したスタッフが他スタッフに伝達して理解に努めています。玄関の施錠は、入居者様が安心して（不審者の侵入防止）生活していただけのように施錠しております。	入居者の入院時に、本人が理解できず、点滴の針を抜くなどで職員の付き添いを頼まれる例があります。提携医の支援のもと、ホーム内で看るなど、身体拘束はしない方針です。玄関は、不審者の侵入を防ぐため、家族了解の上で施錠しています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する研修に参加したスタッフが、他スタッフに伝達して理解し、防止に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状では対象者はいらっしゃらないのですが、必要時に活用していきたいと思えます。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には丁寧な説明を心掛け、御家族様からの疑問や不明点等を話し合い、ご納得いただいた上で契約締結を行っております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様からの意見や要望等を伺う相談窓口（管理者）を設置し、行政の相談窓口の連絡先等も掲示しております。また年2回、家族会を開催して御家族様からの意見や要望等を把握できるよう対応させていただいております。	家族の意見を吸い上げることも兼ねて、年に2回家族会を開催しています。非階段にスロープをつけたらどうか、居室のテレビにチューナーをつけて欲しい、などの意見が出て、応じています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議を行い、ケアの見直しや、業務の見直しについて話し合っております。</p>	<p>職員の意見を吸い上げる場も兼ねて、各ホームが順番に議題を決めて、法人職員全体で勉強会をしています。「あいあい」の職員から、おむつを捨てる大きいゴミ箱を外に設置して欲しいの意見には、法人がすぐに対応しました。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者（管理者）はスタッフと同じシフトで動き、個々のスタッフの状況や問題等を把握・解決し、働きやすい環境作りに努めています。</p>		
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月に1回の勉強会を行っております。また年に1回、他グループホームとの交換研修を行い、スタッフの育成に努めております。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他グループホームと交換研修を行い、サービスの質の向上に努めております。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談から入居までの対応を専門の部署（総合相談室）が行い、ご本人様の不安や要望を把握して対応しております。管理者も不安や要望等の相談があった場合は、解消できるように努めております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談から入居までの対応を専門の部署（総合相談室）が行い、御家族様の不安や困っていることを把握して解消に努め、管理者も不安や要望等の相談があった場合は、解消できるように努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時にご本人や御家族様が必要としている状況を確認し、必要であれば専門部署（総合相談室）と連携しながら対応しております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であると常に認識し、尊敬の気持ちを持って接するようにしております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時や面会時などに入居者様の情報を出来るだけ得るようにし、共に入居者様を支えていくという気持ちで対応しております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は深夜以外は制限しておりません。御家族様との外出も自由にしていただき、関係継続の支援をしております。	以前入居していた施設の方が尋ねてくれる例があります。生活保護の方などは面会が少ないですが、ここで職員や入居者同志のふれあいを大切にする支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション参加を促して入居者様同士がコミュニケーションを図ることが出来る場を作るようにしたり、スタッフが間に入って世間話や昔の話等を行い、関わり合いを持てるように支援しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご家族様から時折連絡をいただき、近況をうかがうなどしてお付き合いを大切にしております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り希望や意向を尊重しております。日々の入居者様の表情、行動、言動から思いや意向を把握するようにしております。	ひとりでいたいと思っている時は、気持ちを尊重して、無理に団らんやレクリエーションに誘わないように配慮しています。本が読みたいという人には職員が本を探してきたり、絵を描くのが好きな人には、塗り絵を用意したりしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前面接や入居時に入居者様やご家族様から生活歴や趣味などを聞き、経過の把握に努めております。また、生活歴の不明な方には、会話の中から少しでも把握できるようにしております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	行動や言動、バイタルチェック等などを観察し、状態把握を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者様やご家族様から希望を聞いて反映したり、課題等を把握して介護計画を作成しております。</p>	<p>現状維持を望む人には、どうやったら現状維持が続くかを本人、家族、職員で考えます。ベッドから起きて転倒する人には、ベッド脇にイスを置く、ご飯にお湯をかけて欲しいなどの要望には、個別にプランを作成しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人ファイルに日々の様子を記録しています。ケア内容の変更は、連絡ノートに記入し、出勤時に確認して対応しております。</p>			
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて出来ることは対応しております。</p>			
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>時折、近隣のボランティアの方に来ていただき、入居者様とのコミュニケーションを図っていただき、楽しみある生活の一助としています。</p>			
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望に応じて（または状態に応じて）受診対応を行っております。主治医や訪問看護師との連携を密にするために、医療連携ノートを作成して入居者様の健康管理に役立てております。</p>	<p>本人、家族の了解を得た上で、入居者全員がホームの提携医をかかりつけ医にしています。月に2回訪問診療、訪問看護師は週に1度みえます。職員、医師、訪問看護師で各自の連携ノートを作り、個々の健康管理に当たっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携ノートを作成し、状態等を訪問看護師に伝え、それに対して訪問看護師から助言やアドバイスを受けて入居者様への対応に役立てております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は担当医師や担当看護師と相談して状況把握に努めると共に、MSW（医療ソーシャルワーカー）とも話し合い、早期の退院に向けて話す機会を作るようにしております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様にはターミナルケアが可能であることを説明しております。重度化やターミナルケアが必要な状況になった場合は、主治医や訪問看護、スタッフが連携して対応しております。	看取りに関する指針はあります。提携医の緩和ケアも含めて、ホーム内での看取りに力をいれていきます。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応についてはマニュアルを定めて対応しております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を行い緊急対応が出来るようにしております。また非常食の備蓄も3日分用意して災害に備えております。防災訓練に町内会の方にも参加していただき、いざという時の協力をお願いしております。	社会福祉施設防火安全研修会に出席しています。今年度は3月に夜間を想定しての避難訓練を計画しています。泉区の自衛消防隊消防操作技術訓練に出席し、消火器の部で金メダル、消火栓の部で銀メダルを獲得しました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーポリシーを定めて入居者様の個人情報保護に努め、入社時等に言葉かけや対応等で入居者様の自尊心を損なうことがないように注意しております。	法人全体で、職員が入居者にかかる言葉について「言葉のかけ方のチェック表」を作成し、職員個々が見直しをする機会を得ました。接遇に関しては、管理者や主任から職員に、気が付いた時に注意しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どのように過ごしたいか、何をしたいのかをお聞きしたり、選択していただいたりして自己決定出来るように努めております。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーション参加を促すことはありませんが、お一人で過ごすことを好まれる方も居られるため、無理強いせずに入居者様に希望に沿って対応しております。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で出来る方には行っていただき、困難な方には希望を聞いたりして支援しております。			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理時に入居者様に食べたい物をお聞きしたり、野菜の下ごしらえを行っていただいております。庭の畑の野菜を収穫していただき、楽しみながら召し上がっていただいております。また、入居者様の状態に応じての食事提供も行ってまいります。	食材は発注し、野菜の収穫もあります。ブルーベリー摘みや、法人運営のレストランで外食したりする楽しみもあります。誕生日には、入居者と職員がデコレーションケーキを作って祝います。嚥下食、とろみ食、ミキサー食も対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取チェック表を確認しながら不足がないよう注意し、状態に応じて主治医に相談して栄養剤を処方していただいたり、水分摂取量の少ない方には、好みの飲み物を提供するなどの対応を行っております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行っております。状態に応じて、毎週金曜日に訪問歯科による治療や口腔ケアを行っております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用して排泄間隔を把握出来るようにしております。排泄の意思表示が困難な方には、声掛けやトイレ誘導、おむつ交換を行ったり、一人ひとりの排泄間隔に合わせて出来るだけ失禁がないように対応しております。	排泄チェック表を活用し排泄パターンを把握し、おむつ使用の入居者にもできるだけトイレを利用するように誘導しています。規則的な排便と野菜食、水分補給を心掛けることで排便がスムーズになり、便秘で悩む入居者が少なくなりました。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を多く使った料理を提供したり、水分摂取を促したり、体操を行って腸の働きが高まるように支援しております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の状態や希望に応じて入浴をしていただいております。	週に2～3回の入浴が基本ですが、毎日でも入居者の希望があれば応じています。浴室には滑り止めマットや手摺を完備し、転倒事故を防止しています。また、2名の全介助が必要な入居者は、週に1回の訪問入浴サービスを利用しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>安心して休んでいただけるように、不安や寂しさ等で眠れない方には訴えを傾聴して不安等の改善を図ったり、生活習慣（就寝時間・就寝薬）い合わせて対応しております。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに一人ひとりの薬剤情報書をファイルして、服薬している薬の効用等を理解するように努めております。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>得意な事（新聞たたみ・野菜下ごしらえ、洗濯物たたみ等）を行っていただいております。また入居者様が行いたいレクリエーションを聞いて提供しております。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩に出かけられるよう対応しております。</p>	<p>散歩に出かけたり町内会の回覧版を持っていったり、また、職員と近くの公園の周囲をドライブしたり入居者の外出の機会が多くなっています。入居者は毎月2回そろって外出し、法人が運営する中華レストランでの外食を楽しんでいます。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人での金銭管理は困難であり、トラブルにもなりやすいので、ご家族様やホーム側で行っております。お金に対して強いこだわりがある方に対しては、本物のお札に似た玩具のお札を持っていただき、精神的な安定を得ることが出来るよう対応しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各階に電話があり、いつでも電話を掛けていただけるように対応しております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアーには入居者様と作成した大きなカレンダーを貼ったり、光の強さはカーテンで調整したり、空調管理をこまめにして快適に過ごしていただけるように配慮しております。	リビングは明るく空調や加湿に配慮が行き届き、入居者が本を読んだり塗り絵をしたりして寛ろいでいます。隣接した和室では入居者が囲碁や将棋を楽しみます。みんなで協力して作ったカレンダーに入居者が当日マークをつけています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有フロアーにはソファを設置してゆったりと過ごしていただいております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に以前から使用していた家具を持ってきていただき、少しでも親しみある慣れた空間作りを心がけております。	居室は入居者の馴染みのタンスや置物で個性的です。家族の位牌を置いている入居者もいます。職員が入居時に在宅を訪問し、本人の生活の習慣をホームで継続できるように家具の配置等に気を使っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所には手摺を設置して身体機能（歩行）を活かせるようにしたり、居室ドアに表札を貼り付けて、分かりやすくしたり、トイレにも看板を付けて自立した生活を送っていただけるよう配慮しております。		

事業所名	グループホームあいあい
ユニット名	おおやま

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職時のオリエンテーション時に理念を教え、事務所にも掲示しております。全体会議でも確認して、理念を共有しております。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中和泉町内会に加入し、催しに参加させていただき（祭りや地域の防災訓練等）交流を図っております。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方からの認知症やホームについての質問について説明を行っております。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で活動状況報告書を配り、ホームの状況を説明しております。会議での意見を取り入れてサービス向上を図っております（災害時の安全な避難について）		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護を受けておられる入居者様が多いので、生活保護担当ケースワーカーとは日頃から連絡を取り合っております。また、市・区主催の研修にも参加しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修に参加したスタッフが他スタッフに伝達して理解に努めています。玄関の施錠は、入居者様が安心して（不審者の侵入防止）生活していただけのように施錠しております。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する研修に参加したスタッフが、他スタッフに伝達して理解し、防止に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状では対象者はいらっしゃらないのですが、必要時に活用していきたいと思っております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には丁寧な説明を心掛け、御家族様からの疑問や不明点等を話し合い、ご納得いただいた上で契約締結を行っております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様からの意見や要望等を伺う相談窓口（管理者）を設置し、行政の相談窓口の連絡先等も掲示しております。また年2回、家族会を開催して御家族様からの意見や要望等を把握できるよう対応させていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議を行い、ケアの見直しや、業務の見直しについて話し合っております。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者（管理者）はスタッフと同じシフトで動き、個々のスタッフの状況や問題等を把握・解決し、働きやすい環境作りに努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回の勉強会を行っております。また年に1回、他グループホームとの交換研修を行い、スタッフの育成に努めております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他グループホームと交換研修を行い、サービスの質の向上に努めております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談から入居までの対応を専門の部署（総合相談室）が行い、ご本人様の不安や要望を把握して対応しております。管理者も不安や要望等の相談があった場合は、解消できるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談から入居までの対応を専門の部署（総合相談室）が行い、御家族様の不安や困っていることを把握して解消に努め、管理者も不安や要望等の相談があった場合は、解消できるように努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時にご本人や御家族様が必要としている状況を確認し、必要であれば専門部署（総合相談室）と連携しながら対応しております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であると常に認識し、尊敬の気持ちを持って接するようにしております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時や面会時などに入居者様の情報を出来るだけ得るようにし、共に入居者様を支えていくという気持ちで対応しております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は深夜以外は制限しておりません。御家族様との外出も自由にしていただき、関係継続の支援をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション参加を促して入居者様同士がコミュニケーションを図ることが出来る場を作るようにしたり、スタッフが間に入って世間話や昔の話等を行い、関わり合いを持てるように支援しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もお家族様から時折連絡をいただき、近況をうかがうなどしてお付き合いを大切にしております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り希望や意向を尊重しております。日々の入居者様の表情、行動、言動から思いや意向を把握するようにしております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前面接や入居時に入居者様やご家族様から生活歴や趣味などを聞き、経過の把握に努めております。また、生活歴の不明な方には、会話の中から少しでも把握できるようにしております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	行動や言動、バイタルチェック等などを観察し、状態把握を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	入居者様やご家族様から希望を聞いて反映したり、課題等を把握して介護計画を作成しております。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個人ファイルに日々の様子を記録しています。ケア内容の変更は、連絡ノートに記入し、出勤時に確認して対応しております。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	状況に応じて出来ることは対応しております。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	時折、近隣のボランティアの方に来ていただき、入居者様とのコミュニケーションを図っていただき、楽しみある生活の一助としています。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	希望に応じて（または状態に応じて）受診対応を行っております。主治医や訪問看護師との連携を密にするために、医療連携ノートを作成して入居者様の健康管理に役立てております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携ノートを作成し、状態等を訪問看護師に伝え、それに対して訪問看護師から助言やアドバイスを受けて入居者様への対応に役立てております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は担当医師や担当看護師と相談して状況把握に努めると共に、MSWとも話し合い、早期の退院に向けて話す機会を作るようにしております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様にはターミナルケアが可能であることを説明しております。重度化やターミナルケアが必要な状況になった場合は、主治医や訪問看護、スタッフが連携して対応しております。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応についてはマニュアルを定めて対応しております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を行い緊急対応が出来るようにしております。また非常食の備蓄も3日分用意して災害に備えております。防災訓練に町内会の方にも参加していただき、いざという時の協力をお願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーポリシーを定めて入居者様の個人情報保護に努め、入社時等に言葉かけや対応等で入居者様の自尊心を損なうことがないように注意しております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どのように過ごしたいか、何をしたいのかをお聞きしたり、選択していただいたりして自己決定出来るように努めております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーション参加を促すことはありますが、一人で過ごすことを好まれる方も居られるため、無理強いせずに入居者様に希望に沿って対応しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で出来る方には行っていただき、困難な方には希望を聞いたりして支援しております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理時に入居者様に食べたい物をお聞きしたり、野菜の下ごしらえを行っていただいております。庭の畑の野菜を収穫していただき、楽しみながら召し上がっていただいております。また、入居者様の状態に応じた食事提供も行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取チェック表を確認しながら不足がないよう注意し、状態に応じて主治医に相談して栄養剤を処方していただいたり、水分摂取量の少ない方には、好みの飲み物を提供するなどの対応を行っております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行っております。状態に応じて、毎週金曜日に訪問歯科による治療や口腔ケアを行っております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用して排泄間隔を把握出来るようにしております。排泄の意思表示が困難な方には、声掛けやトイレ誘導、おむつ交換を行ったり、一人ひとりの排泄間隔に合わせて出来るだけ失禁がないように対応しております。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を多く使った料理を提供したり、水分摂取を促したり、体操を行って腸の働きが高まるように支援しております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の状態や希望に応じて入浴をしていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して休んでいただけるように、不安や寂しさ等で眠れない方には訴えを傾聴して不安等の改善を図ったり、生活習慣（就寝時間・就寝薬）い合わせて対応しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに一人ひとりの薬剤情報書をファイルして、服薬している薬の効用等を理解するように努めております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な事（新聞たたみ・野菜下ごしらえ、洗濯物たたみ等）を行っていただいております。また入居者様が行いたいレクリエーションを聞いて提供しております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に出かけられるよう対応しております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人での金銭管理は困難であり、トラブルにもなりやすいので、ご家族様やホーム側で行っております。お金に対して強いこだわりがある方に対しては、本物のお札に似た玩具のお札を持っていただき、精神的な安定を得ることが出来るよう対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各階に電話があり、いつでも電話を掛けていただけるように対応しております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアーには入居者様と作成した大きなカレンダーを貼ったり、光の強さはカーテンで調整したり、空調管理をこまめに調整して快適に過ごしていただけるように配慮しております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有フロアーにはソファを設置してゆったりと過ごしていただいております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に以前から使用していた家具を持ってきていただき、少しでも親しみあえる慣れた空間作りを心がけております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所には手摺を設置して身体機能（歩行）を活かせるようにしたり、居室ドアに表札を貼り付けて、分かりやすくしたり、トイレにも看板を付けて自立した生活を送っていただけるよう配慮しております。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事を楽しんでいただくために、庭の畑の野菜を収穫していただき召し上がっていただいておりますが、収穫をしていただくだけの状態であるため、より一層の生活の活性化を図るためにも、苗を植える～収穫するまでの全ての流れに参加いただくことが重要と考えます。	畑を作っていた方も多いので、野菜作り全般に参加いただき、より一層楽しみある生活作りを支援していきたいと思ひます。	年間野菜スケジュールを作成し、園芸高校出身のスタッフを中心として、良い土作りから始め、種や苗を植え、収穫までの全ての流れにご利用者様に参加していただき、日常生活をより一層楽しみあるものにしていきたいと思ひます(園芸療法)	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。